

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
飯島町	飯島地区(岩間、高尾、赤坂、北町、上ノ原、中町、南仲町、南町、親町、豊岡、山久、鳥居原、石曾根、日曾利)	令和2年12月1日	令和2年12月1日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	425ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	311ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	71.2ha
i うち後継者が農業者以外の農業者の耕作面積の合計	43.5ha
ii うち後継者がいない農業者の耕作面積の合計	14.3ha
iii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3.6ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	ha
(備考)	

2 対象地区の課題

70歳以上で後継者が農業者ではない、後継者がいない、不明の農業者の耕作面積合計が61.4haとなっており、70歳以上の農業者の耕作面積の大半を占めているため、新たな農地の受け手の確保が必要。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

飯島地区全域の農地利用は、飯島地区営農組合が調整を行い、地区担い手法人である(株)いいじま農産を中心に、認定農業者、認定新規就農者、その他中心経営体がそれぞれ協力して経営を担う。 また、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受入れを促進することにより対応していく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

米、麦、大豆などの土地利用型作物以外に、収益性の高い野菜、花き、果樹などの生産に向けた取り組みを検討する。

親元就農を基本とし、地元で担い手法人への就農を促す。また、町や地区全体で地区外から来る方への研修、就農のPRを行っていく。

農家だけでなく、土地持ち非農家、非農家も含めて地区全体で協力して農地利用に取り組む必要がある。